

平成 28 年度 政策討論会 第三分科会 要点記録

- ・テーマ：災害時の議会对応と支援体制（態勢）について
- ・日時 平成 28 年 12 月 19 日
- ・場所 4F 第二委員会室
- ・出席者 反甫 旭（座長）
友永 修（副座長）
井舎 英生
井上 源次
井上 博
岩崎 雅秋
桑原 佳一
米田 貴志 （議員は五十音順）

1. 素案「大規模災害の時に開く手帳」を座長、副座長で作成し配布。それを参考に、本市版の基本マニュアルについての意見を出し合った。
2. 次回の日程は、1 月 23 日（月）10 時とする。
3. 各議員からの発言・意見内容（順不同）

●配布された素案を基本に進めてはどうか。議会災害対策本部は、拠点があつてないようなもの（ある意味、クラウド化された本部）である。大切なのは、情報を共有できることではないかと思う。情報共有のツールとして SNS を活用できないか。例えば、議会として構成する、「岸和田市議会災害対策ライン（仮称）」を作成するのも一つだと思う。仙台市の理念は、まったくその通りであり、本市にも反映すべきだと思う。

●高石市の大規模災害の時に開く手帳を参考にして作成することが望ましい。

第 1 の 1 での定義については、台風の文字を入れたり、大津波警報とあるが、津波警報ではどうか。

本市の議会にも災害対策本部を設置し、議員自ら災害伝言ダイヤル等により、自らの安否を報告し、その後、地域の被災者の安全確保や避難所への誘導に協力する必要があると思います。

●越谷市の台風等風水害の対応マニュアルを見ましたが、副座長が作成した「大規模災害の時に開く手帳」と重複していると思います。また、その※印の「議員からの情報、要望

は、市対策本部が応急対策に専念できるよう、緊急の場合を除き、議長に伝達します。」が一番重要だと思います。原則、徒歩・バイク・自転車は厳守すべきだと思いますし、安否確認の連絡方法も自由で良いと思う。そして、基本としての米印が大事です。

●大規模災害時の災害対策会議設置、災害時対策対応指針に沿い、議員がなすべきこととそれに必要な情報をコンパクトにまとめた議員必携の手帳を作成を進めるべきである。その際の基本的な考え方は災害時における市の災害対策本部が設置された場合には本部の指示に基づき議会本部は対応するものとする。議会、議員はこの応急復旧活動を側面から支援し、そのため発災時に議員は地域で活動し、自身の安否を議会に連絡し、必要な情報を議長等に伝達するなどケースバイケースに見合った活動をするものである。そのためにも平時から必要な情報収集に努めなければならない。地域の一員としての地域における共助の取り組みが不可欠である。

●議員が自ら主体的に災害時に活動できるように対応指針等を作成する必要があると考える。ただし、事細かにルールを決めすぎるとマニュアルにとられすぎて有効な活動ができなくなる可能性があると思うのでその点には留意しないといけない。その点からも他市にある災害時に議員自ら事務局等に連絡するとあるが、それで良いと思う。あくまで、議員が一定のルールのもと、自ら行動することが必要であり、行政の災害対策の妨げとならないよう考えていかなければならない。

●前回お話しした、地震による災害時の対応だけでなく、風水害等の災害時の対応について調べましたところ、越谷市の物が良いとの評判だったため、ネットで取り寄せましたが、正直、それほど物でなく、この程度ならばわざわざ風水害等の災害時の対応を分離して記載しなくても、本文に「風水害等における対応等」と記載して挿入すれば十分であると思う。仙台市議会災害対応指針には、基本方針としてその理念に「災害時の非常対応と議会の本来的役割との関係は、固定的なものでなく、災害の規模、対応に応じ、また時間の経過とともに重層的に変化・シフトするものである。また、大規模災害時には、議員、職員、庁舎自体が被災することも想定されるところであり、これらの状況に応じて、的確に対応を図るものとする。」と最初に理念を記載し、そのあと、対応の基本方針として下記の項目が記載されていた。

①災害対策本部が行う災害対策に最大限の協力を行う

②特に災害初期においては、当局ができる限り災害対応に専念できるよう、会派及び議員からの当局への要望は、緊急の場合を除き、仙台市議会災害対策会議のように窓口を設置して提出する。まさに、我々が本政策討論における主旨はこれではないかと思う。出来ることなら、我々も策定する指針には、先の震災で甚大な被害にあわれた経験を持つ仙台市のこの理念と、対応指針の各項目を載せていきたい。

●災害発生時における議会の対応について

【大規模災害の時に開く手帳】に関して

市議会災害対策会議は市対策本部の傍に設置するのが良い。

市議会災害対策会議には、議会運営正副委員長も入れるのが良い。案ではそれが抜け落ちている。

【実際の大規模災害】に備えて

地域では、議員は市民と共に行動するのであるが、市対策本部への連絡を議員も担うことがあるのではないかと？

地域の誰が市対策本部へ連絡するのか？と言うような訓練がなされていないので、その訓練を実施する必要がある。

議員が地域への支援を市議会災害対策本部へ連絡する前に「市対策本部」へ連絡することが予想される。